



## 「大切に生きる」

今週28日(火)に、9年生を対象に「性に関する指導・教育講演会」を開催しました。講師は熊本県助産師会 加治美由紀 助産師をお招きしての講話でした。思春期の子どもたちに向けて、今から出会うであろう「性に関する諸問題」についてたくさんの資料を準備していただき、わかりやすく説明していただきました。生徒は自らの命はもちろんのこと、家族をはじめとした身近な人たちの命について考えることが出来たようです。今回の担当の首藤養護教諭に生徒の感想を見せてもらいましたが、「これからはもっと自分の体を大切にし、性に関する正しい知識を身につけ判断していこうと思います。」「自分を生んでくれた親やこれまで育ててくれた人たちに感謝していこうと思います。」等の言葉が綴られていました。感染症やデートDV、異性との関わり方等、多岐にわたり考える時間になったようです。生徒のこれからはより良き未来であることを心から願っています。



【 加治先生の講演の様子 】

## 「より良き集団をめざして」

28日(火)、3・4時間目に校内人権集会を実施しました。本来であればもっと早い時期に全校生徒を一同に集めて学びたかったところですが、コロナ禍で実施が難しく、時期を再三延期し、最後はリモート方式に変更しての実施でした。自分のことだけでなく、身の回りの事に目を向け、どうすればより良き集団になれるのか考える時間になりました。そこでの生徒の意見発表は、学級代表だけにどれも素晴らしかったです。また、その発表に対する返しの言葉が、とても温かな言葉で、意見発表者が力をもらえる時間となりました。全校生徒で学んだ意義があったなと思える時間でした。



【 9年生会場での意見発表の様子 】

## 「曇りのち晴れ」

先日のことです、地域の方から三本のお電話をいただきました。まず一本目は、本校生徒が下校中に買い食いをしており、その姿を見た小学生が「よくないよね」といっていたとのこと。二本目が自転車の二人乗りをしている生徒がいて、危険でしたとのご連絡でした。どちらも言い訳できないことでした。そして、三本目は地域の高齢のおばあちゃんが散歩中に転倒し、起き上がれずいたところ、通りがかった本校生徒(四名)が助け起こしてくれたとの感謝のお電話でした。三本のお電話とも、その日のうちに各担任を通じて生徒に話したところ、いいことも、反省すべき事もすぐに名乗り出てくれて、小国中生徒の素直さをあらためて思った次第です。だめなことはだめ、いいことはたいしたもんだと誉めたところですが、今後も本校生徒の、いい行いはもちろん、改善すべき行いについても是非ともご連絡ください。そして、時には遠慮なく注意していただいてもかまいません。みんな素直でいい生徒ばかりです。